

最先端のIT技術を 地方から発信

～新たな道を切り開いて青森で生きる～

株式会社ヘプタゴン

代表取締役 立花 拓也



DATA

創業年月 2013年10月
従業員数 2名
資本金 2,500千円
所在地 三沢市富崎2-4262
E-Mail info@heptagon.co.jp
URL http://heptagon.co.jp/

事業概要

私たちはクラウドでのサーバやネットワークの構築／運用に特化した東北で唯一のクラウドインテグレータで、様々なクラウドプラットフォームを活用し、お客様のITリソースの最適化をお手伝いしています。

ソーシャルゲームやECサイトなど数十台のサーバを組み合わせて大量の処理を行うような構成から、地方ならではの小規模のWEBサービスや中小企業の社内システムまでお客様の環境に合わせた最適な環境をご提案しています。

創業の経緯

私は三沢市で生まれ育ち、大学卒業後、仙台市内にあるITベンチャー企業でエンジニアとして働いていました。

大手プロバイダのサーバの運営・管理など、何十万、何百万人をサポートする仕事はやりがいがありましたが、数年経つうちに、不特定多数の知らない人たちにサービスを提供するよりも、顔の見える人たちに喜んでほしいという思いが強くなっていきました。

そんな矢先、2011年3月に起きた東日本大震災。

このことを機に、家族の大切さ、故郷への愛情を再認識しました。

「震災後、大きな変化を迎えている東北の中で、今こそふるさと青森に貢献したい!」、そんな思いから2012年4月、三沢市にUターンし起業しました。

創業からこれまでの道筋

起業時に一番不安だったのが、地元での人脈が乏しいこと。IT業界でも人脈と信用は事業成功の大きなカギとなるからです。そこで、起業して間もない頃、県主催の創業・起業制度合同説明・相談会に参加し、インキュベーション・マネージャーから親身にアドバイスいただきました。

また、青森県では、他県にさがかけてIT企業同士や他産業との連携の場づくりを推進し、セミナーやマッチングなどの各種支援も行っており、参加したことで県内のネットワークがさらに広がり、実際に新たな仕事にもつながりました。

両親が専業農家でにんにくやごぼうなどを作っているのですが、大きさや形などが悪いというだけで廃棄されている規格外の野菜をどうにかしたい。その思いで、ITと農業を結び付け、インキュベーション・マネージャーと相談しながら、「ぶさいく野菜.com」の商標を取得し、インターネットでの販売も行っています。

今でも何かわからないことがあるとインキュベーション・マネージャーに相談しており、とても心強い存在です。



会社のこれからの方向性

今の私の目標は、現在事業の主体となっているIT/クラウドという新しい産業で地域への貢献や雇用の創出をしていくとともに、祖父の代にゼロから開拓し、父の代で大きく拡大した地域の農業を次の時代にもつなげていくことです。

人、自然や職などの魅力あふれる青森県にはまだまだビジネスの可能性や選択肢がたくさんあると思います。例えば、ITと農業を結び付けたり、都会にはない青森ならではの強みをうまく生かし、人と人、人とモノ・コトがつながることでもつと青森が面白くなるはずだと思うし、面白くしていきたいと思っています。

たくさんのつながりを生み出しながら、楽しく

やりがいのある仕事を作り、自分の生まれ育った地域を子供たちの世代にとって魅力的な場所にしていくのが自分の義務だと思っています。

創業を目指す人へのメッセージ

交通やコミュニケーションツールなどの発達で、地方にいても首都圏と同レベルの仕事が可能になった時代になりつつあります。また、解決しなければならぬ課題が沢山存在する地方にはそれだけビジネスチャンスが大いにあります。青森で新しい時代を切り開いていく仲間が増えることを楽しみにしています。

社名・ロゴの由来



社名であるヘプタゴンとは正七角形という意味。

正七角形は定規やコンパスでは描けないが、コンピュータがあれば簡単にできる。新しい技術で今までできなかったことをできるようにするという思いが社名には込められています。

Message

インキュベーション・マネージャーから一言

立花さんは、起業後すぐ「訪問型創業相談会・三沢会場」にお見えになり、事業計画について相談にいられました。実家にお戻りになっての起業ですので、生活コストに対するリスクは軽減され、かつ業務も、顧客を持ち帰って経営リスクの軽減を考えた開業を迎えました。しかし、事前計画ではチャレンジ要素が強くて取れませんでしたので、経営の下振れ時を強く想定していただき覚悟を求めました。不安点は顧客に当たる業界への土地勘が不足すること。インキュベーション・マネージャーと解決策を話し合い、戦略上の結果として地上戦術も採用し、人脈構築に努めた結果、予想を上回るネットワークを築いていただけました。私自身、何事もチャレンジしていく積極性を立花さんから気づかせていただきました。

加圧トレーニングで 短命県返上!

BODY WORK

代表 花田 真樹



DATA

創業年月 2014年3月
従業員数 0名
資本金 なし
所在地 弘前市土手町191
電話 0172-55-9408
FAX 0172-55-9408
E-MAIL body.work@gmail.com

事業概要

加圧トレーニングは、平常時の290倍の成長ホルモンを分泌させると言われており、アンチエイジング、ダイエット、シェイプアップ、筋力アップ、健康維持、体力向上、競技のパフォーマンス向上に効果的です。

専用機材で血流を制限することにより低負荷、短時間で効率よい運動ができるトレーニングで、健康づくりやリハビリから、アスリート向けの本格的なトレーニングにまで幅広く適用できます。

BODY WORKでは、マンツーマンによるきめ細やかな指導で、出張トレーニングにも対応しています。



創業の経緯

私は、東京、神奈川で26年ほどフィットネストレーナーをしてきましたが、フィットネス業界が大型フィットネスクラブから専門的なトレーニングをマンツーマンで行うマイクロジムに変化してきていると感じていました。その需要は首都圏よりも地方にあり、これをビジネスチャンスと考え開業を決意しました。

さらに、加圧トレーニングは、青森県では、まだ誰も手を付けていない事業ということもわかり、地元の弘前市で創業しました。

創業からこれまでの道筋

青森県では前例がない事業のため、比較するデータがない状況のなか、これから創業するビジネスが成り立つ根拠となるデータを集めなければいけませんでした。

また、新規の事業のため、認知度が低く、事業内容を細かく説明しなければならず、融資を受けるまで、店舗になる物件を押さえ続けなければいけないといったこともありました。

創業後は、狙ったターゲットの客層のズレの修正や、やりたかった内容とやらなければいけない内容のニーズのズレの修正があったほか、秘密のトレーニングにしたいとのことで、口コミでは全く周知されないという想定外の事態に対処しなければならませんでした。

会社のこれからの方向性

トレーニング設備を増やして事業を拡大するとともに、自分と同じように指導ができるフィットネストレーナーを育成したいと考えています。

それらの取組を短命県の返上につなげ、中心街のにぎわいづくりにも寄与したいと考えています。



創業を目指す人へのメッセージ

トレーニングは首都圏から地方で行われる時代になりました。フィットネス業界なども大きく変化しています。青森県でまだ行われていないトレーニング、誰も、手を付けていないトレーニングも沢山あります。

私には、青森県はビジネスチャンスだけに見えました。しかし、インキュベーション・マネジャーの助けが無ければ、私一人では、このチャンスをつかむことはできなかったと思います。ぜひ支援機関やインキュベーション・マネジャーと相談し、創業のチャンスをつかんでください。



Message

インキュベーション・マネジャーから一言

花田さんは、起業する目的で帰省し、すぐ相談窓口へ駆け込んできました。私が担当することとなり、起業すること、資金調達に必要な知識ややるべき事をじっくりお伝えしました。

花田さんから「起業するぞ!」という覚悟を強く感じたので、私も熱い思いで対応しました。

花田さんの起業に対する「覚悟」は、私も見習いたいほどのものでした。これから起業される方にもこの「覚悟」を持って臨んでいただきたいと思います。